

医師会臨床検査センターだより

2025年5月



百日咳菌検査のご案内

全国で感染が広がっております百日咳菌感染症において、当臨床検査センターで受託しています、百日咳菌検査をご案内いたします。

当検査センターで受託している百日咳検査

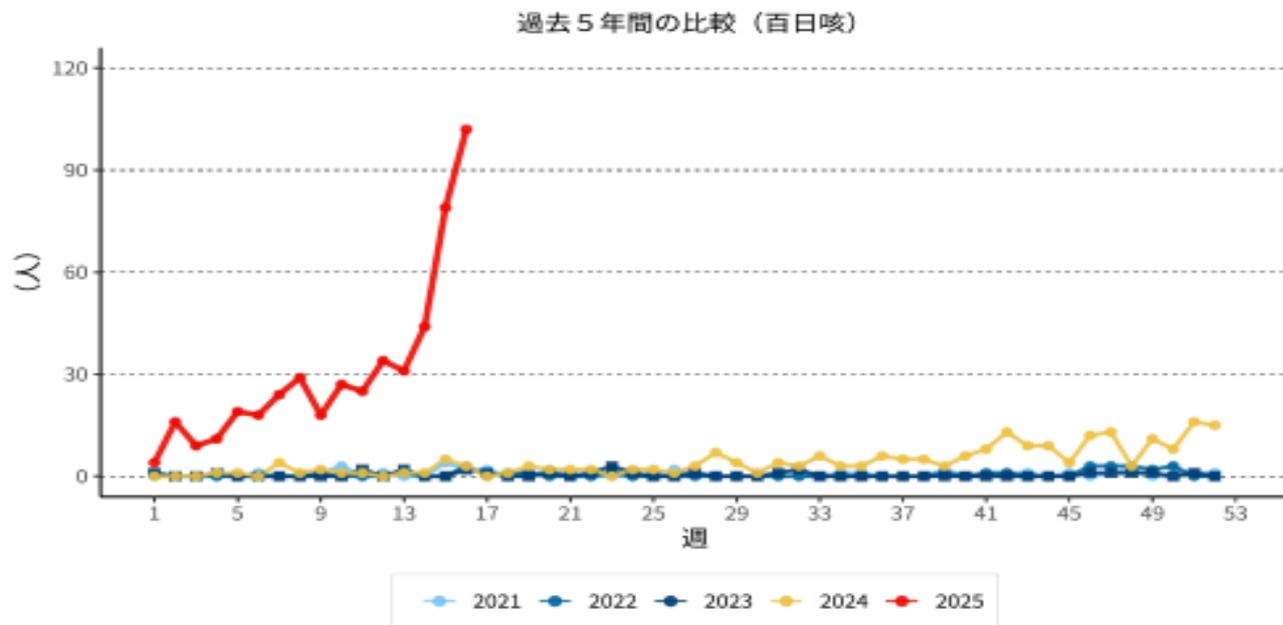
注意
注意

項目コード	検査項目	検体量	報告	実施料	検査方法
2894	百日咳菌DNA	後鼻腔ぬぐい液	3~5日	360(微生物)	LAMP
3558	百日咳抗体IgA	血清(0.2mL)		80(免疫)	ELISA
3594	百日咳抗体IgM	血清(0.2mL)		80(免疫)	ELISA
4992	百日咳抗体	血清(0.2mL)		257(免疫)	EIA

※詳細は検査項目一覧110ページを参照ください

注意：百日咳抗体IgA 5月14日(水)、百日咳抗体IgM 5月8日(木)ご依頼分で、一時受託中止となりますのでご注意ください。
(INFORMATION NO. 2025.08にてご案内いたします)

【福岡県における百日咳菌感染者数推移】



※福岡県感染症情報より引用



福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号

TEL 092-852-1506 (代) FAX 092-852-1511

【臨床的意義】

●百日咳菌DNA

百日咳は百日咳菌の気道感染によって、引き起こされる急性(気道)呼吸器感染症です。ワクチンにより、予防可能な疾患ですが、年長児や既ワクチン接種者では非典型的な症状が多く、診断が困難となるケースが少なくありません。本検査は、LAMP 法を用いており、迅速かつ特異的に百日咳菌の核酸検出が可能であるため、他の呼吸器系疾患との鑑別や百日咳の早期診断等に有用な検査として、期待されています。

●百日咳抗体 I g A ・百日咳抗体 I g M

百日咳抗体 IgA は、百日咳毒素(PT)および繊維状赤血球凝集素(FHA)の総 IgA 抗体価を測定し、百日咳抗体 IgM は、百日咳菌に対する IgM 抗体価を測定いたします。IgA 抗体は病日約 21 日、IgM 抗体は病日約 15 日をピークに発現し、IgA 抗体は IgM 抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgA および IgM 抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。

●百日咳抗体

潜伏期は 7～10 日間程度で、感染力が強く飛沫感染によって引き起こされる急性呼吸器感染症である。普通の風邪症状で始まり、次第に発作性、痙攣性の咳となる。合併症として肺炎の他、乳幼児では脳症があげられる。

百日咳ワクチンの成分である PT、FHA に対する特異的 IgG を測定し、ワクチン接種後の抗体獲得の確認、百日せき感染の診断補助に有用である。また、抗 FHA 抗体はパラ百日咳との交差がみられるため結果の解釈には注意が必要である。

※SRLWeb 項目案内より引用